



Prussian Blue

Brand Concept

青。

それは空の色であったり、海の色であったり、洋服やバッグなど身のまわりにある物の色であったり。

地球の誕生から青は、私たちの生活の中に自然と溶け込み、親しまれている色のひとつです。

その特徴は、一見シンプルながら、塗り重ねればどこまでも深く濃くなっていき、

薄くひけばほぼ透明と呼べるほどまでに、自然な発色を誇るということ。

要するに、どこまでも深く、あくまでもナチュラルな存在なのです。

そんな、人の心の浮き沈みまでもを表現するのにも使われるこの色の存在価値を、

オートモービルメイクアップの世界へと反映させる。

それが私たちプルシャンブルーの本意です。

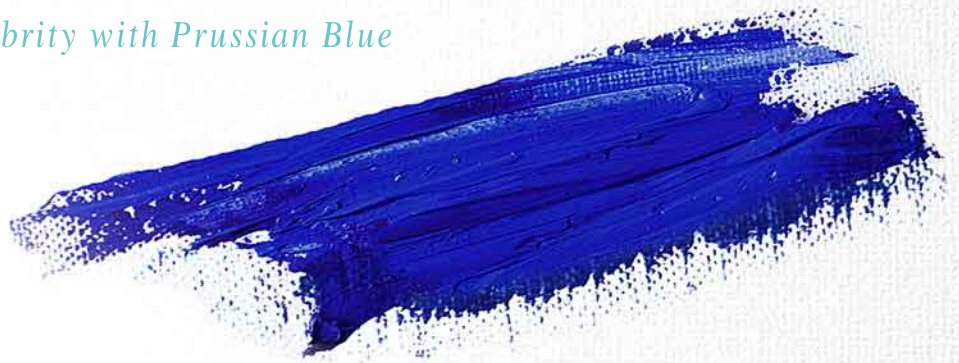
自然で明るく爽やかなルックスと、

深く薫る危険で刺激的なシルエットを備えた、先端の最高級プログラム。

その美しさに思わず息を飲む。

そんな「青の世界」、ご覧に入れます。

Turn the world celebrity with Prussian Blue



孤高の巨匠、ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ。20世紀最大の天才、パブロ・ピカソ。そして日本が世界に誇る天才浮世絵師、葛飾北斎。技法もタッチもさまざまな彼らの作品には、実はある共通点が存在します。18世紀初頭に生まれた青、プルシャンブルー。彼らが描いた代表作には、鮮明かつ透明感のある、この鮮やかな青色が使われているのです。印象派の巨匠、ルノワールはこのプルシャンブルーを「危険な色」と評しました。これは、伸ばせばどこまでも鮮やかに、塗り重ねればどこまでも深くなるこの色の存在感に、赤や黄などの他の色が、ことごとく輝きを失ってしまうことを懸念してのこと。それでもこの青は、天才たちの心を捕らえて離しませんでした。そしてこの新たな青は、そんな巨匠たちの手を借りて、芸術の世界を大きく動かすことになるのです。

私たちプルシャンブルーは、近代芸術を変えるだけの力と輝きを放ったそんなプルシャンブルーから、何物にも混ざらない個性と存在感を、ハイレベルな技術とセンスを備えた頂上の人たちからも愛されるだけの深い輝きを、世界を染めぬくだけの絶対的な力を学び、受け継いでいきたいと願います。巨匠たちに愛され、世界の美術史を大きく変えたのはプルシャンブルー。そして今、成熟した大人たちに愛され、ドレスアップの世界を大きく変えるため、新たなプルシャンブルーが生まれるのです。